



ここにしかない岡田藩の文書、横溝正史愛用の品々を間近で見られる

真備ふるさと歴史館は平成6年に開館し、江戸時代250年間この地を治めた1万石余りの大名「岡田藩」に関するここにしかない古文書や、産業を発展させ、災害を防ぐ努力をして生きてきた当時の村人の暮らしがわかる資料を展示しています。また本格推理小説家として名高い横溝正史の疎開先がこの岡田で、彼は3年3か月の間、疎開生活を送りました。彼の代名詞ともいえる金田一耕助をはじめとした数々の名作が生まれた地でもあるので、彼の遺品や作品を展示し一部のマンガは実際に読むこともできます。

◆ 施設のおすすめ

この地を治めていた岡田藩や当時の村人の暮らし、高梁川の水害を防ぐための工夫や尽力した人々などについて、それらに関係するこの施設にしかない貴重な古文書や江戸のお殿様のやり取りが記された文書、藩札といわれる岡田藩が独自に発行した紙のお金などを展示しています。また、岡田藩の学校「敬学館」で学ばれていた、論語に触れる体験もできます。ほかに、横溝正史愛用の品である執筆の際に使用した机やメガネ、ペンなども展示しているだけでなく、彼の生涯を紙芝居にして読み聞かせなども行っています。

◆ 子どもたちへのメッセージ

真備と岡田の人々が岡田藩のもとでどういった生活を行っていたのか、古文書や掛け軸などを通じて知ってもらうことができます。また名探偵金田一耕助が生まれた町、その生みの親である横溝正史が疎開先の岡田でどのような生活と活動を行っていたかを、彼の遺品や作品に触れることで知ってもらえればと思います。



真備ふるさと歴史館外観



横溝正史愛用品の数々



岡田藩時代の模型



焼失した藩邸の屋根瓦



藩額、敬学館にまつわる書物・掛け軸



歴史館、内部の様子



杉本一文先生直筆サイン入りポスター